

# PAPER CONSULTANT

## チャレンジ No.77

### 日本洋紙板紙卸商業組合 経営強化サポート委員会

今回のチャレンジ77号は資格取得上の注意点を中心にお届けします。

#### 第27期日紙商認定ペーパーコンサルタント 資格取得に挑戦する皆さんへ

1990年10月に日紙商の教育事業の一環として導入された「日紙商認定ペーパーコンサルタント資格取得講座（旧紙営業士）」は今回で27期目を迎えることとなります。

日紙商認定ペーパーコンサルタント資格の合格者は第1期から第26期までの間に2,052名を数えるまでとなり、紙流通業界の第一線を担う人材として幅広く活躍されています。

「日紙商認定ペーパーコンサルタント資格取得講座（旧紙営業士）」とは主に日紙商組合員企業各事業所に勤務する営業担当者がコンサルティングセールスを目指すために、組合が定めた通信教育（3課題）、スクーリングを（2回）受講し、認定試験に合格し、フォローアップセミナーを受講した方に日本洋紙板紙卸商業組合が資格を授与するものであります。

この講座の目的は、皆さんのスキルアップによりコンサルティングセールスができる営業パーソンが1人でも多く誕生することにあります。趣旨をよく理解され、自己啓発の1つの手段として挑戦してください。

また資格を取ることも大事ですが、半年間の通信教育のプロセスこそ重要です。ここには多くのノウハウと情報があります。是非ともこれらを吸収し、自分のものとしてください。

通信教育（添削課題）の「商品知識編」については、「商業印刷物」「パッケージ」「出版物」の3分野から1分野の選択となっています。

#### 以下の項目に注意して 学習を進めてください

- ガイドブックをよく読み、講座の目的及び仕組み、学習体系をよく頭に入れて、学習を進めてください。  
ここをよく理解しないまま、ただ漠然と学習を

進めていたのでは学習効果が半減します。

- 通信教育のデジタルテキストをただ読むのではなく、重要なポイントはノートなどに書いて整理をすれば、理解が一層深まります。
- 添削課題をWEBフォームに記入する際は登録したメールアドレス宛のメールが確認できるPCを使用し、そのPCは常に同じものを使用してください。複数の端末（例：デスクトップPCとスマートフォン、会社PCと自宅PC等）を使い分けることはできませんのでご注意ください。またWEBブラウザのキャッシュはクリアしないでください。完成し送信する際は控えとしてプリントアウトし、添削後の結果が返送されるまで保管してください。
- スクーリングはデジタルテキストの復習だけでなく、営業活動に有益な情報を収集するチャンスです。講義の内容をこれからの営業活動に活かしてください。
- 会社や上司からの推薦をきっかけとする場合でも、この講座を自己成長の機会として主体的に受講してください。前向きな姿勢で取り組むことで、学びが深まり、時間や費用を最大限に活かすことができます。
- 2026年に改訂したデジタルテキスト第6版では、時代とともに変化する営業手法や商品知識のトレンド情報を補足しつつも、連綿と続いている紙業界の知識を可能な限り収めてあります。ボリュームはありますが内容の理解に努めてください。認定試験では全内容が対象となりますのでご注意ください。

#### 添削課題の提出期限を 厳守してください

- 添削課題の提出期限は以下の通りです。  
営業活動編提出締切——2026年6月末  
商品知識編提出締切——2026年7月末  
営業管理編提出締切——2026年8月末  
提出期限は各課題毎に期日を厳守してください。  
（期日に遅れた場合は、本年度の受講資格を失いますのでご注意ください）

---

## 資格を取得するには

---

- まず何と言っても通信教育のデジタルテキストをよく読み内容を理解することです。試験問題はデジタルテキストから出されますが、確かな理解がないと答えられない内容になっています。デジタルテキストを計画的に学習し、課題をすべてクリアしてください。

試験は正誤選択と、語群選択が中心ですが、選択肢が多いためしっかり理解していないと正解を導くのは困難です。

- 添削課題はポイントを正しく捉えていれば文章の長さに関係なく得点に反映しますが、単語の羅列にならないように注意してください。この課題は、コンサルティングセールスの材料としてすぐに営業活動に活かせるものです。日常の営業活動から離れた課題ではありません。この課題をすぐ営業活動に役立てようという気持ちで真剣に取り組んでください。

### ■資格認定基準

合格点は添削課題の得点と認定試験の合計点数で算出されます。

#### (1) 添削課題の得点

添削課題 3科目をそれぞれ100点満点（総計は300点満点）とします。経理知識編の添削課題は行いません。

#### (2) 合格基準点

添削課題の得点（300点満点）と認定試験得点（300点満点）との合計600点満点で420点以上を合格とします。ただし添削課題に40点以下の科目がある場合と認定試験2分野（商品知識、営業活動・管理・経理知識）の合計点が150点以下の場合合計420点以上でも不合格となります。

#### (3) 資格の授与

資格の取得にはフォローアップセミナーの受講が必要です。通信教育、スクーリングを終了の上、認定試験に合格し、かつフォローアップセミナーの受講を終了した方に日本洋紙板紙卸商業組合から「日紙商認定ペーパーコンサルタント」の資格を授与します。

---

## 資格取得は自己啓発のチャンス

---

通信教育のデジタルテキストを学習することは、自分自身を見つめ、さらには自身の営業活動を見つめ

直すことです。日常の業務の多忙さにまぎれ、受身営業活動に終始してしまっているのではないのでしょうか。この通信教育を学習することにより、自己の知識、能力を再確認し、自己の仕事を再認識してください。参考までに、これまでの合格者からヒヤリングした主な受講対策をご紹介します。

- ・デジタルテキストの反復学習（5回～20回）
- ・土日、夜間を使った社内勉強会
- ・社内の合格者とのマンツーマン特訓
- ・社内での模擬試験の実施
- ・過去問題を使った試験対策会

---

## 非営業部門の方へ

---

非営業部門で受講される方は、添削課題の1つである「営業管理編」につきましては非営業部門の課題を選択してください。その他の添削課題「営業活動編」「商品知識編」は特に指定はありません。

---

## 注 意 等

---

添削課題の答案でまれに他の受講者（過去の受講者も含む）と同一あるいは類似した答案が見受けられます。得意先の事例や紙媒体に関する諸情報等を色々なルートで収集し参考にすることは特に問題はありませんが、答案はその情報やデジタルテキストを参考にしながら独力で作成してください。もし同一答案あるいは模写答案と判断される場合は、受講資格を失うこととなります。また、スクーリングや資格試験で不正な行為が発覚した場合は、受講資格を失うこととなります。ご注意ください。

---

チャレンジ No. 77

発行日 2026年4月1日

発行者 日本洋紙板紙卸商業組合  
経営強化サポート委員会  
東京都中央区日本橋浜町2-42-10  
TEL 03(3808)0971

編集・制作 OVOL ICTソリューションズ株式会社

---